

## □連載小説 9

## キリシタンの墓

小山 牧子

え・石阪 春生

## 村重船長

あらずし 二年前短期大学を卒業した佳は、神戸のかなり時代がかった高台の西洋館で、華麗なる歌人の母親と子の生活に息づまを感じ、米国系海運会社のエイジェントに勤めることにした。ある日、遠く離れている父から一通の手紙を受けとり、さまざまな思いをめぐらしているうちに佳の頭に、ある夜ボスのヒギンズ氏とともに訪れた願成寺の墓地のくらがりにひっそりとうずくまっていた老人の顔が浮んだ。

市バス上沢二丁目の停留所を山側にのぼる通り、タバコ屋、化粧品店など、庶民の生活がふんぷんとおう店やしもた屋などと軒をならべて、浄土宗願成寺の門が建っている。門標に、墨あとも古く『通盛、小宰相の墓』とある。

寺の建立は、奈良朝にまでさかのぼり、当時すでに中央の政治に関与していた僧、行基が、畿内四十八カ所に観音寺として建てたものの一つである。

以後、寺は政治権力の相剋によって宗門の興亡が左右されたそれぞれの時代をくぐりぬけ、ひっそりと生き続けてきた。

建立者行基の没後、平安の貴族社会から忘れさられ、長く廃寺のうきめをみた頃もあった。が、ある時代、権力の脚光——、それも亡びゆく権力からの残光としての

光の下にうきあがり、その存在をあきらかにしたこともあった。

願成寺が時代の表面にうきあがる機会は、平清盛の福原遷都によってもたらされた。遷都のあと、現在の湊山小学校のあたりに清盛の別荘『雪見の御所』がしらえられたのであったが、その近く、当時は鳥原村に廃寺となりはてた願成寺があったのである。

平家一族に随行して福原御所に入った東大寺を警備する武士の一人であった住連坊がこの廃寺に目をとめ、浄土宗の寺として再興した。

やがて、平家滅亡のとき、再興なった寺は、滅亡する権力の残照に映えて、寂寥とした色に染められることになった。というのは、願成寺が平家の武將通盛と比の方小宰相の純愛物語にゆかりを持っているからである。

夫である平通盛が一の谷の合戦で戦死したという悲報を、屋島にのがれる船中で聞き知った比の方小宰相は、あかで別れしいもせのなからひ、必ずひとつ蓮に迎えたまへ

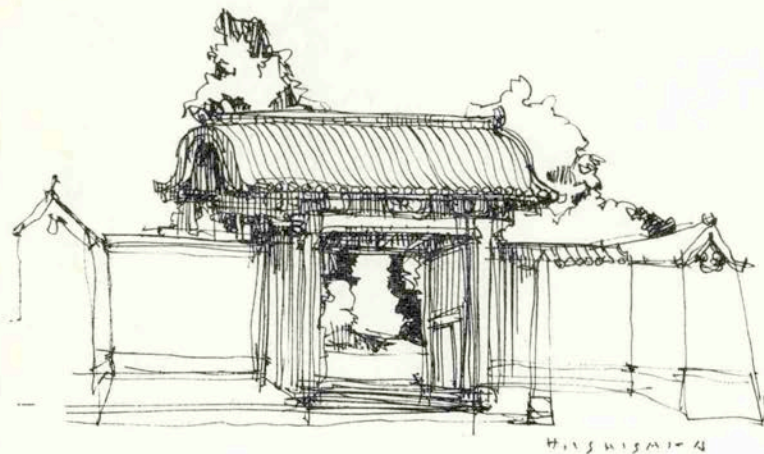
との言葉を最後に、海中に身を投げ夫のあとを追った。死の際のいちずな女の願いを仏は聞きたもうたかどうか、通盛と小宰相の墓がこの願成寺にある。

願成寺が、歴史の片すみに名を留める事件に再びかわるのは、戦国時代に入ってからである。寺というものが宿命的にそうであるように、このときの話も寂寥として暗い。

織田信長の覇がほぼ確立した頃、伊丹城主である荒木村重の謀叛があったことは衆知のことである。原因はさまざまに考えられようが、キリシタン信奉者であった荒木村重の思想に、信長の日本統一の理念たる武力主義が容認できる範囲の外にあったと見るべきであろうか。一説には、村重が強い尊皇思想を持っていたことが原因したとも伝えられる。ともあれ、謀叛は、その時代の体制をかためる権力を否定することから起る。

伊丹城は、たちまち信者によって落とされ、身一つになった村重は、背後で妻子と荒木一族のものが惨殺される断末魔の声を聞きながら、ほとんど未踏に近い山路を有馬へと逃げた。そこには、三木城を攻略する羽柴秀吉が湯治にきているはずであった。

村重は、秀吉の保護のもとでさらに山路を信長の手の内から遠く落ちのびていったと伝



えられる。キリシタン信奉者である村重には、日本の武將にふさわしいさきよき、自害という最後はありえない。

尼崎、西の宮、兵庫など、すべての港が信長の命令で封鎖されている状況での村重の遁走路は、やはり未踏に近い山の路であった。村重は、たぶん兵庫の山あいをも歩いたであろう。そこに、かつて栄華をきわめた平家、福原御所の山荘、『雪の御所』の廃虚があり、平家にゆかり深い願成寺があった。

逃亡生活に疲れはてていた村重は、この寺に身を寄せ、おのれ自身の返逆によって無惨な最後をとげた荒木一門の死者へのつぐないのために、ここにみずからの手でキリシタンの碑をたてたと考えられる。その碑を前に一人クルスに祈る村重の胸に、なおも一人いきのころうとするおのれへの限りない不信、罪の意識が黒くよどんでいたであろう。主君を裏切り、骨肉を死に追いやり、なおも一人、生に執着する人間存在の醜悪さ、罪深さ。が、そんな醜悪な人間をゆるし、浄化し、愛をもつて救ってくれる絶対的な存在がどこかにある。村重は、渴く心で神を求め、十字を形どったキリシタンの碑に、日ごと夜ごと祈ったに違いない。

願成寺にのこるキリシタンどうろうは、このようにして荒木村重の手で後の世に遺されたと伝えられていった。また、この寺には、村重自身の墓ものこっている。

寺は、明治三十三年、この地が市の水源地と指定されたため、由緒ある石の碑ともどもバス停上沢二丁目近くに





移され、現在にいたっている。

さて、物語を再び現在からはじめる。

いまから三年ばかり前のことである。片手にスーツ・ケース、別の手にたぶん本だとかスクラップ・ブックだとかが入っているらしいかさだかな風呂敷づつみを軽々とぶら下げた一人の老人が、飄然と寺の玄関に立現われた。

老人は、寺にとっては主だった壇家にあたる船食屋からの紹介で、庫裏の一間を借りたいというのである。神戸港に碇泊する船に航海中に必要な食料を納入する店の主人は、前日、

「えらいさんですよ。わしが若い頃からせんどお世話になった外国航路の船長さんだしてな……」

というふうには老人を説明したのであるが、依頼を受けた若い住職には、腑におちぬところがあつた。

「なんでそんなえらい人が、うちみたいな古寺の庫裏に住みたがりまんね？」

住職が問うのに、

「なんでって、ちと変人なんやろな」

「へえ、それで、御家族は？」

い、海できたえぬいた男とうかがえる動きをただよわせていた。

「神戸には、はじめて住みはりますのか？」

世捨人たるはずの住職、案外と詮索好きなのである。

「いや、ずっと長年、芦屋に住んでおりました」

「なるほど……」

老人は、すぐにでも荷ほどきをするかまえて、両手にぶら下げてきたものを縁先に置こうとする。が、芦屋族であつたと聞いて、住職の危惧はました。

「古い部屋しかあらしませんが。何でしたら、うちの壇家でマンション経営しとるお方がおつてですからそっちをお世話しますがな。垂水の方で、窓から海がいつべんに見渡せて、空気もよろしいわ。ここらは、芦屋あたりと違つて、排気ガスであんた……」

「いや。芦屋に住んだのは、娘に逝かれてしまうまでのことでしたなア……。それ以後の私は宿なしですよ。それに、海が見える窓というのも……。いまの私には、まぶし過ぎるのです。海は……」

住職は、老人の表情がかすかにかけるのを見た。なおもかくしやくとした風貌の下で、老人の心は、孤独な老

「あらへん。そんなもん、あらへん。ひとりぼっちや。天涯孤独や」

というところで、船食屋の主人はいそがしいのか電話を切つてしまったのであるが……。

翌日、寺に現われた

老人は、小柄な体つきであつたが老いの衰えなど毛ぶりほどもみえぬ、まだ鋼のような弾力を秘めているらし

# オール関西

1月号予告

オール関西五周年特別企画

## 特集一明日をになう企業

座談会 明日をになう企業の条件

小松左京、鈴木謙一 はか

明日をになう企業30社

## 特集一瀬戸内海と関西

対談 瀬戸内海を考える

宮崎辰雄 神戸市長

石野信一 神戸銀行頭取

座談会一瀬戸内海への提言

中谷利兵衛、米花稔、水谷顕介

レポート

瀬戸内海のビッグプロジェクト

瀬戸内海ショッピングネットワーク

瀬戸内海の観光とレジャー

瀬戸内海のフェリー網

## 新春放談一これからの関西

佐治敬三、牛尾吉朗、塚本幸一、

立石孝雄

## グラビア特集

文壇春色

司馬遼太郎、黒岩重吾、陳舜臣

藤本義一、邦光史郎、黒部亨

阿部牧郎

## 現代美術いろいろ対談

中西勝一、高橋亨

## 創作一女流新人競作

下大路由佳、石上弘美

★オール関西編集部

大阪市北区曽根崎上一丁目30

八千代会館 TEL (06) 313-2635

年を生き続けることに疲れきっているのではないだろうか。そう思った一瞬、若い住職は、この老人を寺に宿らせることが仏の御心になうことであると確信したのである。

寺に住みついた老人は、ほとんど物音一つたてぬぐらに、ひっそりと暮らした。一日に二度、食事のために外出する以外は、いつも部屋に閉じこもったままに居る住職の家族たちに対しても、老人の方から話しかけることはめったになかったし、もちろん、老人をたずねてくる客もない。

しかし、日がたつにしたがって、老人は、若い住職とだけは、かなり打解けて話すようになった。住職が寺の雑用から解放され、手もちぶさたでいる時間を見はからってやってき、この寺にまつわる古事来歴などをあれこれと興味深げに聞くのである。

ある夜など、語る住職にも興がわき、夜がすつかりふけるまでも話しこんだことがあった。話は、たしか住職得意の荒木村重にまつわる古事であったとおもう。その夜は、十二時近くになってから、老人は住職の部屋を辞し

たのであるが、しばらくして、墓地に通じる木戸が遠慮がちにひらくのを、住職は聞いた。墓地には、前述のとおり、荒木村重の墓碑と彼にゆかりをもつクリシタンとろうがある。

住職は、村重の話に感動した老人が眠られぬ夜の時間をまぎらせるために墓地の散歩を思い立ったのであろうと、簡単に考えたのであったが、その夜以後、老人は一日のうちの幾時間かを墓地のクリシタンどうろうのそばで過ごすようになったのである。

住職の家族たちは、時々、墓地で見かける老人の愚かれたような表情を気味わるがった。やはり、船食屋の主人が説明したとおり、老人は変人だったのである。

が、老人と親密に語りあう機会をもった住職だけは、荒木村重という不遇な武将の物語に心を傾け、彼がたてたクリシタンの遺跡に執着する老人の過去が、決して平穩なものではなかったであろうことを、おぼろげに感じたましくおもうのであった。老人は、いやすことができぬ深い傷の痛みにたえながら、余生をおくっている男なのではないだろうか。

(つづく)





Mr. Kent  
came to Kobe  
流行に左右されない  
本来のオシャレ  
それがKentです  
シックな  
スコッチ風の店舗  
それがFunakiyaです

**Kent shop**  
**フナキヤ**

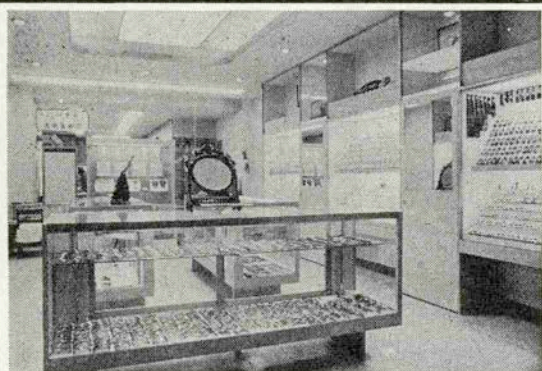
元町3 TEL<32>0356



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

**三恵洋服店**

元町4丁目 TEL 34 7 2 9 0

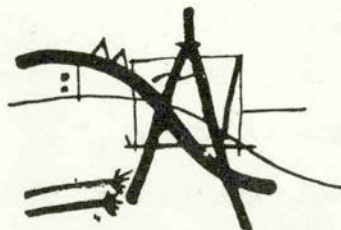


べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

新装開店 **太田 鼈甲店**

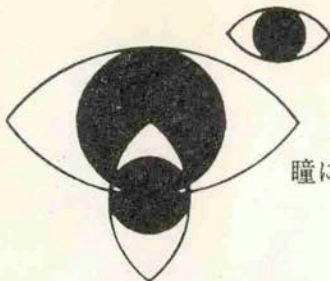
元町4丁目 TEL 33 6 1 9 5

**額縁絵画・洋画材料**  
**室内工芸品**



**末 積 製 額**

三宮・大丸北  
トア・ロード  
33 1309・6234

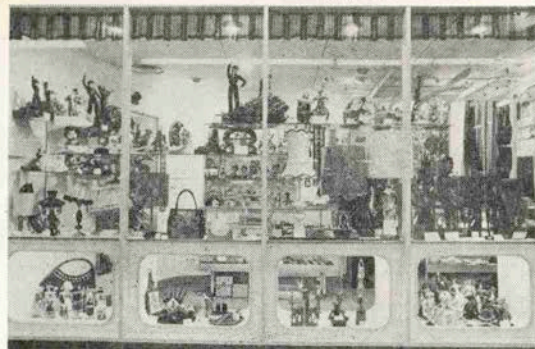


瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

## 国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



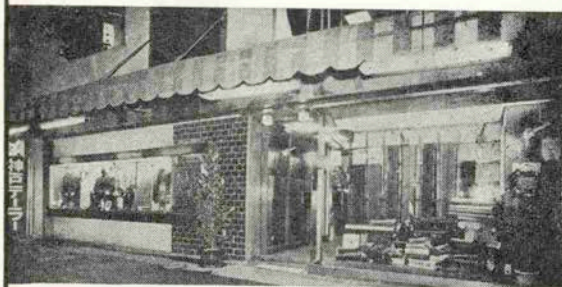
直輸入インテリア・ギフト

**サンレイ**

神戸国際会館 1 階  
TEL (078) 22-9713

高級紳士服専門店

## 神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL 39 03 88  
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL 33 2817・3173

オリジナル **L** サイズ

草履新発売

創業明治二十八年

## 履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房  
静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL (39) 0256



おすし  
てんぷら

榮 彌



営業時間

A.M. 11.30 ~ P.M. 9.

本店 大丸前・三宮神社東

TEL 33 5 7 7 2

5 6 7 4

(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味ののれん街

TEL 39 5 2 3 3

あけまして  
おめでとう  
ございます



今年もやっぱり  
おもちゃは  
カメラ



三宮方面でのお買物は………  
さんちか店 ファミリータウン 094045  
三宮店 センター街大洋劇場東隣 034969  
元町方面でのお買物は………  
元町店 元町通3丁目山側 030090  
パンブ店 元町通1丁目不二家前 090768



スタンド

香 子

桑 畑 房 子

コウベビル地下  
TEL 33-6763

やっぱりうまい  
むさしのとんかつ

ムサシ

でんわ・  
323233  
100634  
0635

鉄板焼  
さこん

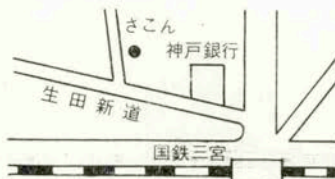
生田新道神戸銀行西小路入る  
TEL 33-8632



「小さくてもいいから気楽な店でありたいわ」というねがいが、さりげなく暖かい雰囲気をつくっている店、それが“さこん”。

阪急三宮駅上の生田新道山側神戸銀行西小路を入ったところにあるこじんまりした鉄板焼もできるスタンド。日本舞踊をたしなむ若い白百合のようなママの瀬川皆世美さんと妹の理恵子さんと二人がお相手をしてくれる。ご両親が6年近くつづけた店の後を姉妹がバトンタッチして14年。そのせいかおなじみさんがリラックスにお酒を楽しんだり、ギターをひいたり、ダーツで遊んだりしている。静かな落ちついた雰囲気のお店。

カウンターの一部が鉄板焼になっていて、コウベビーフ（ヘル1,700円～1,800円）や、野菜を焼いてくれるし、スパゲティなど軽食もできる。ビール小250円 午後5～12時まで。



DRINKING

スタンド

桂

三宮農業会館西筋北上東洋ビル地下  
TEL 33-2239



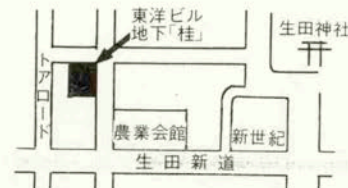
三宮農業会館西筋を50米ほど北上すると東洋ビルがある。スタンド“桂”は、その地階になるブティックな店。7、8人で満席というカウンターには黄色いバラの花が、壁には千原三郎のフランスの教会風景とマルセイユの風景がしっかりと飾られている。

この春から店を始めたばかりだが、ママの島田桂子さんの大らかな、おっとりした家庭的なムードに、若いビジネスマンや、中年客も集まってお酒を楽しんでいる。

ママがお気に入りのジェームスボンダが007で愛用するイタリアのカンパリーをすすめてくれる。♪ボンド気分で、にぎやかにしゃべりをして、愉快に、ほんわかとなることうけあい。

小さくても、ほのぼのとした神戸らしい店である。

ビール200円。水割り350円。午後6時～12時まで。

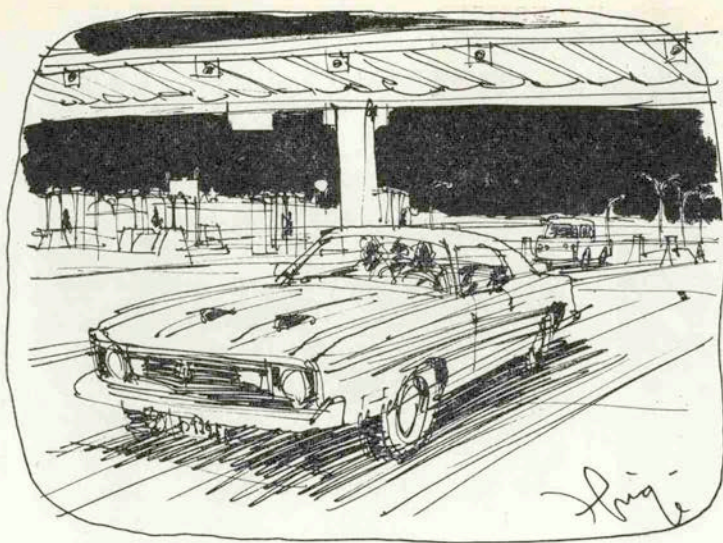




# 曲線ハイウェイ

武田 繁太郎

え・横 塚 繁



★あらすじ 浜名湖北岸の小さな岬のうえに建てられた浜名湖サーピス・エリアで、多木洋介は艶のある薄い小麦色の肌をした若い神戸の女性、宇津康子を知る。MVヘッドトップを駆って、ドライブに暮色が漂いはじめた頃、多木は康子とともに館山湖畔のホテルに入る。

それから十日後、二人は久し振りに浜名湖SAで逢瀬を持ち、朝霧高原で愛を確かめあった。身許をあかそうとしない康子は、その後も十日が半月おきぐらいに、多木にデイトの電話をかけてきた康子の正体を知るために、多木は康子を東京に招き、いつか神戸を訪れることを約束した多木は神戸出身の友たち岡本和彦を訪ねた。

多木は、自分もかなり気まぐれな男だと自認していたが、岡本は自分に輪をかけたようなやつだと、内心呆れ顔でいった。

「いまからいこうたって、おれのほうはなんの支度もしてきてないぜ」

東京から関西まででかけるのである。それだけの準備が必要だったし、神戸に泊るとなれば、ホテル代や遊ぶカネもいる。むろん、いま多木のポケットには、幾枚かの千円札しかはいってはいなかった。

だが、岡本は意に介さなかった。

「支度などいらん。身体だけいけばいいさ」

「車でいくのか」

「うむ。君は車できたんだな？」

「そうだ」

「じゃ、君の車は下の駐車場においておいて、おれの車でいこう。二台がおてつないでいくこともないだろう」  
「そりゃ、どっちでもいいが、神戸に着いたら、おれのネグラはどうすりゃいいんだ？」

「まかしておけよ」

岡本はそばの送受器をとりあげ、ダイヤルをまわした  
応答した相手に、

「岡本和彦だけど、部屋たのむよ。今夜は二部屋だ。いいな」

と、しよっちゅうかけなれているらしい口調で、部屋を予約していた。相手は、神戸のホテルなのだろう。

「君もホテルに泊るのか」

「うむ。休暇で帰省するときほうちへ帰るが、それ以外は、いつもホテルだ。そのほうが気らくでいい」

たしかに気らくだといえはいえたるうが、実家のある郷里へ帰っても、実家に寄らぬという心理が、多木には解せなかった。

「いつもって、そんなにいつでも神戸へ帰っているのか」

「そうだな。月に二、三度は帰っているな」

「なるほど君がいうとおり、神戸ってよほどいい街らしいな」

「うむ。朝起きて、きょうは神戸のピフテキが食いたくなつたなと思うと、そのまま、東名をふつとばしていくんだ。このあいだは、ほとんどノンストップで突っ走ったら、五時間たらずで神戸に着いた」

「呆れたやつだな。それじゃ、平均百六、七十になっている」

「かも知れんな。神戸に着いて、ピフテキを食って、食ったらそのまま、まっすぐ東京に帰ってくることもある」  
岡本はこともなさそうに言ったが、多木は、いっそう呆れ顔になっていた。

東名神は、東京・西宮間五百三十六・四キロある。往復で千八十里。費用は、通行料金、ガソリン代を加えて、ざっと一万四、五千円はかかる。

たった一枚のピフテキを食べるために、千キロの距離と一万五千円の費用をかけて、神戸までとばしていく。しかも、目的のピフテキを満喫すると、日帰りで、わき目もふらずに東京に引揚げてくる。

これも、東名神の完通で可能になったわけだが、それにしても、こうしたやり方が、ハイウェイ時代の生んだ最高に豪華で、そして、痛烈に純粹な「肉」の食い方だと言えたかも知れない。

こういう食事の仕方にくらべると、パリの有名なM直営の銀座のレストランで、盛装した紳士淑女がもったいぶって摂る晚餐など、いくら最高級だといばってみてもなんと色あせてみえることか。

「じゃ、いこうか」岡本は、多木とルミに声をかけると、氣がるに立ちあがった。

時刻は、ちょうど午後の一時をすぎたばかりであった神戸には、夕食ときの七時か八時までには着くことができる。フォード・ムスタングは、フロントシートに岡本とルミをならべ、リアシートに多木を乗せて、マンションの駐車場を滑りだした。多木には思いがけない神戸行きになったが、幸い空はドライブ日和に晴れていた。

午下りの都内のラッシュアワーの間隙をぬって、車は渋谷から世田谷通りを抜け、環八から東名高速にはいった。厚木までの三車線、ムスタングは強力なパワーにものを言わせて、先行車に襲いかかるようにダッシュしていく。スピードメーターの針は、かるがると百五十をオーバーしていた。なるほど、このスピードなら、西宮ICまで五時間で突っ走れるだろう。

厚木を二十分たらずで通過していた。ここで二車線になったハイウェイを、大井松田から御殿場、沼津をめざしていく。岡本はあいかわらずスピードをおとさなかった。大井松田あたりからカーブの多い上りになったが、岡本は、百二、三十のスピードで巧みに車をくねらせていく。彼には通いながれたコースだった。

フロントシートのルミの鼻歌が、多木の耳許にきこえ



てきた。ひと若者たちに人気のあったB・J・トーマスの「雨にぬれて」だ。年に似あわず、ハスキーで、チャーミングな声をしていた。ヘッドレスに栗色の髪の後頭部をもたせかけて、陽気に口ずさんでいた。

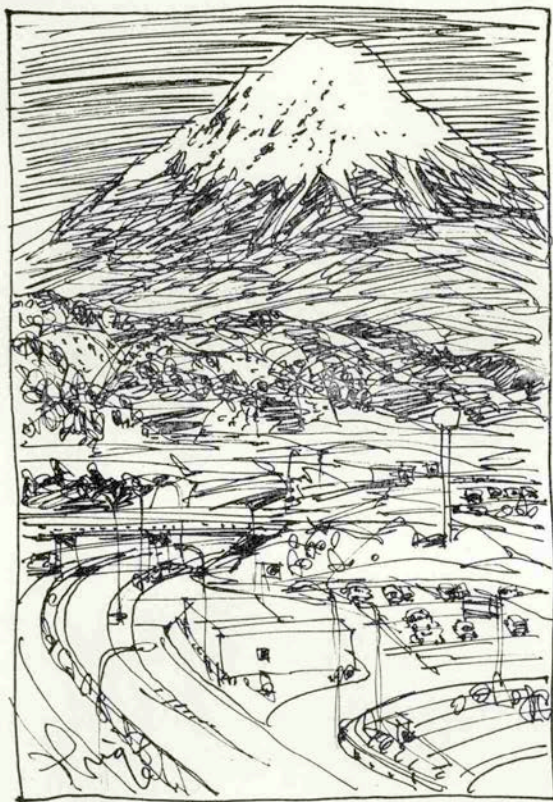
ルミは、空気をひき裂くような鋭い金属音をたてて疾駆している車のスピードには、いっこうに平気なようである。むしろ、身体でリズムをとりながら、スピード感覚をたのしんでいるふうであった。

「ご気嫌だな」多木が背後から声をかけた。

「最高よ」

ルミは、岡本の肩に手をのびしながら答えた。カーキチの岡本に馴らされて、この娘もカーキチのガールフレンドになったと言うのか。

「あたしね、さいしよは、彼のお嫁さんになってやろうかと思っていたのよ」なにを思ったのか、ルミは、突然そんなことをいい出した。



「いいじゃないか。似あいだよ」多木もいい加減な答え方をしていた。

「だけどね、それが、駄目なのよ」

「おれには、神戸に、親のきめた許嫁がいたもんな」

岡本が他人ごとのようにいった。

「そうなのよ。彼って、こうみえても、とっても封建的で、古いのよ。駄目ね」

「いや。それでも、おれは、岡本貿易の御曹子で、二代目社長を継ぐご身分だからな。奥方も、やっぱり、地元神戸の実業界から迎えねばならん。東京くんだりの馬の骨や牛の骨じゃ、岡本貿易の沽巻にかかわる」

「ふん」ルミが鼻を鳴らすと、岡本はおかしそうに笑いだした。

「多木のうちは、なにか事業でもやってるのか」

「いや。おれにはもう両親はいない。兄弟もいないんだおれ一人なんだ」

「そりゃ、いい。羨ましい」

岡本は、はじめて真顔でいった。

「羨ましがられる身分でもないさ。ただ呑気なだけかとりえだ」

「それがいいんだ。それが二代目なんて、じっさい、ろくなやつはいないさ。君のまわりをみまわしてみたって、そうだろう？」

「そうかも知れんな」

「そうさ。おやじが少しばかり有名だったり、社会的な地位があったり、カネがあったりするような家の息子はまず百パーセント、どうしようもないバカ息子と

相場がきまつている」

「そういわれて、多木も、あれこれと、有名人やらカネ持ちやらの息子を思い浮べてみると、なるほど、ろくな息子はすくなかった。」

「おやじもよくないが、だいたいおふくろがわるいな。おれのみるところ、おやじを出世させたような賢夫人にかぎって、息子にはバカ母なのが多い。いい気になって息子を甘やかすから、息子がすっかり駄目な人間になってしまふんだ」

岡本の口調には、自嘲のひびきがあった。

「おれの親たちも、当然のように、おれに岡本貿易を継がせるつもりでいる。だけど、おれが二代目社長になってみる。まちがいなく会社をつぶしてしまふ」

「そうとわかってりや、むしろ、大丈夫だろう。わからんやつが会社をつぶすもんだ」

「いや。わかってても、わからなくても、結局はおなじことなんだ。いわば遁れられん宿命みたいなものさ」

岡本は抑揚のない声でいった。いつのまにか、フロントガラスの壁に、富士の姿が写し込まれていた。

「うちの会社は、社員が百人たらずのちっぽけな会社だ」

が、しかし、会社は会社だ。れっきとした株式会社だ。

ところが、おやじは独力で築きあげたもんだから、いまでも、自分の私物のように思いこんでいる。だから、息子のおれを二代目社長にさせたいんだ」

「どんな大会社でも、社長が一代で創った会社は、みなそうだろう。君は、おやじのあとを継ぎたくないのか」

「いや。おれは結局は、おやじが死ねば、二代目の社長にされるだろう。そうなれば、おれは、会社のカネをじやんじやんつかって、会社を食いつぶしてやろうと思ってるんだ。おれをこういう人間に育てあげたおふくろへのみせしめのためにもな。そいつが、おれにできるたった一つの親孝行かも知れん」

「なるほど。おもしろい考え方だ」

多木は、車窓を動いていく富士の姿をながめながらうなづいていた。

いままで、この岡本とはあまり付きあわなかったのですが、彼が、彼が神戸に帰っても、いつもホテルに泊って、実家へは寄らないという気持ちだけは、なんとなくわかるような気がした。

(つづく)

## ＜神戸の催し物 1月ご案内＞

### ＜演芸＞

#### ★新春爆笑公演

1月1日～10日 神戸国際会館

①「銭」二場 花登直作・演出

②「えらいやっちゃ」一場 土井行夫作・演出

出演/ミヤコ蝶々・南都雄二・石浜祐次郎・平凡太郎

真木洋次郎・夏川ひばる

昼の部 正午・夜の部 4時半開演

指定席700円 自由席400円 特別指定席1,000円

### ＜音楽＞

#### ★江利チエミと共に

1月11日(月)および19日(火)

開演 2:00、6:30 (ただし19日は6:30のみ)

ゲスト出演/中野プラザーズ

民音 神戸国際会館

#### ★チャイコフスキーの夕べ

1月18日(月) PM 7:00開演

大阪フィルハーモニー楽団 会費800円

民音 神戸国際会館

#### ★吉永小百合リサイタル

1月22日(金) PM 6:30開演

労音 会費1,000円 神戸国際会館

#### ★ヒデとロザンナリサイタル

1月23日(土) 神戸国際会館 開演 PM 3:00、6:00

入場料 S 900円、A 700円、B 500円

#### ★菅原洋一リサイタル

1月25日(月) 神戸国際会館 PM 6:30開演

入場料 S 1,500円、A 1,200円、B 1,000円、C 700円

### ＜美術＞

#### ★第一回兵庫県美術祭

1月5日～31日

入場料 大人80円、大・高校生60円、中・小学生40円

県立近代美術館

### ＜演劇＞

#### ★想いのチェーホフ

1月8日～14日

PM 6:15 (ただし10日のみ 1:30開演)

民芸公演 海員会館

エリ・マリューギン作 宇野重吉演出

出演/下元勉・鈴木瑞穂・小沢弘治・奈良岡朋子他

### ＜バレエ＞

#### ★眠れる森の美女

1月21日(木) 神戸国際会館 PM 6:30開演

労音 会費1,000円

東京シティ・バレエ団

キャスト/小林紀子・小林功・有馬五郎・岩淵渥子・金井

利久・石井清子他

### ＜文楽＞

#### ★「お染久松」新版歌祭文より「野崎村の段」木下順二作

野沢松之輔作曲「赤い陣羽織」

1月26日(火) 海員会館

労音 PM 6:30開演 会費800円

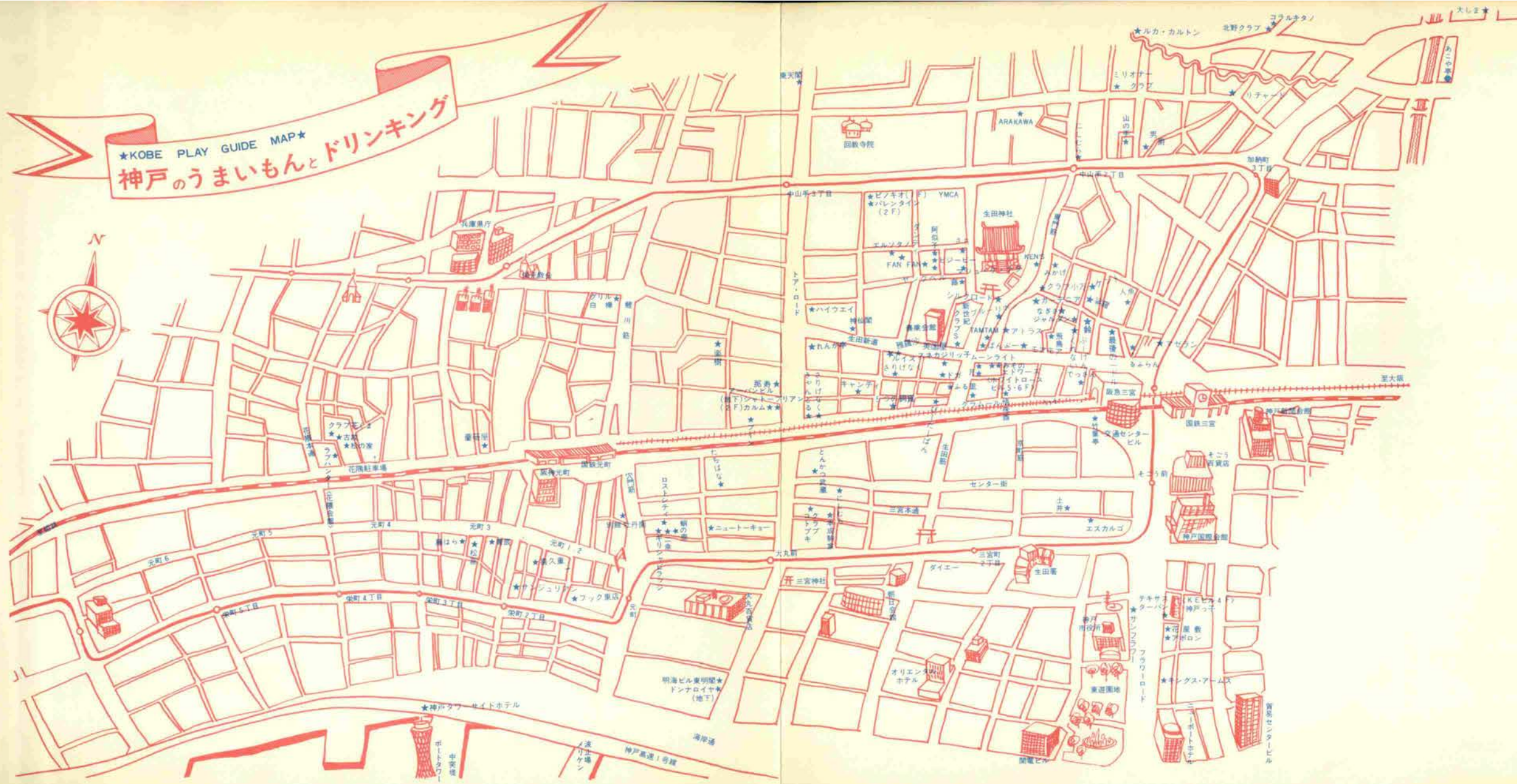






★KOBÉ PLAY GUIDE MAP★

# 神戸のうまいもん＆ドリンキング





# 神戸のうまいもんとドリンクینگ

## ★日本料理

阿なご寿司 青 辰  
神戸市生田区元町通3-184  
TEL 33-3435

讃岐名代うどん あ こ や 亭  
神戸市東灘区旗塚通7-5  
TEL 23-6300

和 食 く れ な い  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
TEL 33-0494

か っ ぱ う 古 紋  
神戸市生田区花隈町45  
TEL 34-0240

鍋もの・おむすび 悟 味 西  
お茶漬・卵ばた  
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 33-3848  
三宮さんちかタウン TEL 39-5319

お茶漬・おむすび ふ る 里  
鍋 も の  
神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 33-5535

た こ 焼 た ち ば な  
三宮センター街(旧柳橋) TEL 33-0572

和 風 料 理 楽 樹  
神戸市生田区下山手通3丁目41  
トアロード西筋淡路交差入 TEL 39-8649

料 亭 大 し ま  
東合区篠内町6丁目39の6  
TEL 22-1360・1945

割 烹 喜 久 重  
生田区元町通2丁目82  
TEL 33-1915・39-3385

## ★西洋料理

レストラン ア ポ ロ ン  
ダイバーラー  
神戸市東灘区八幡通5丁目6  
TEL 25-3231

レストラン 川 <あらかわ>  
神戸市生田区中山手2-9  
TEL 22-8547・23-3315

純フランス料理 エ ス カ ル ゴ  
神戸市生田区三宮町1-22  
三宮センター街裏 TEL 33-5034

メンバーズクラブ ルカ・カルトン  
レストラン・コービショップ  
生田区北野町3-67-2  
TEL 24-4321-4

レストラン 男 爵  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 24-0778

レストラン 花 屋 敷  
三宮ラフォーロード市役所前  
TEL 25-2109

鉄板グリル さ ゃ ん ど る  
神戸市生田区北長狭通2-22  
TEL 33-1183

レストラン キングスアームス  
神戸市東灘区磯辺通4-61  
TEL 22-3774

グリル ケ ー ン ズ  
東店 生田東門筋 TEL 39-0159  
西店 農業会館西下ル 39-3212

レストラン シャトーブリアン  
神戸市生田区北長狭通3丁目5番地  
トアロード TEL 33-2050

レストラン&バー サン・ジュリアン  
神戸市生田区栄町2丁目11 阪神元町駅西口浜側  
TEL (33) 9533 100米桜道地下

グリル・鉄板焼 月  
神戸市生田区北長狭通1-24  
生田神社前 TEL 33-2509

レストラン テキサスターバン  
神戸市東灘区八幡通5-95  
神戸市役所前 TEL 22-7139

イタリア料理 ドンナロイヤ  
神戸市生田区明石町32  
明海ビル地階 TEL 33-7158

レストラン ハイウェイ  
神戸市生田区下山手2-20  
TEL 33-7622

ビッアハウス ビ ノ ッ キ オ  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 33-3545

レストラン フ ッ ク 東 店  
神戸市生田区栄町1-5-3  
TEL 32-3207

ティー 那 寿  
三の宮トアロード  
TEL 39-1873

レストラン ミリオナークラブ  
生田区山本通2丁目50の2  
レストラン 23-9393-3  
メンバーズ 22-1162

ステーキハウス れ ん が 亭  
神戸市生田区下山手通2丁目34  
TEL 33-7168

## ★喫茶

フオーク ローストシティ  
ウエスタン  
神戸市生田区三宮町3丁目22  
TEL 33-3770

宮 水 の に し む ら 珈 琲 店  
コーヒー  
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 22-1872・23-9524

センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 39-0669

modern Jazz & Coffee さ り げ な く  
生田区北長狭2-22 TEL 33-9762

カフェ・スポット サンフラワー  
神戸市生田区・花時計地下  
TEL 33-7794

## ★CLUB & BAR

くらぶ 阿 似 子  
神戸市生田区中山手2丁目89  
TEL 33-6069

くらぶ 飛 鳥  
神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 33-7627

くらぶ S <エ>  
神戸市生田区下山手通2丁目6  
TEL 33-2406・33-8993

エドワーズ倶楽部  
神戸市生田区北長狭通1丁目28  
ホワイトロースビル5・6F 生田新道 TEL 39-3300

くらぶ オ ナ シ ス  
神戸市生田区中山手通1丁目  
日産ビル2F TEL 32-3520

くらぶ KOTOBUKI  
神戸市生田区三宮町2丁目26  
三宮本通り TEL 33-1875

くらぶ 小 万  
神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 39-0638・4386

くらぶ さ ち  
神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 33-7120

クラブ ジャルダン  
神戸市生田区中山手通1丁目111  
TEL 33-8589

くらぶ ル イ ス  
神戸市生田区下山手通2丁目29  
コーベビル地下 TEL 39-5065

クラブ 鈴  
生田区中山手1丁目111 TEL 33-2403

club な ぎ さ  
神戸市生田区中山手通1丁目111 TEL 33-8626

club 藤くふ き>  
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515

くらぶ ー げ ん  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
TEL 33-8593

club Moon Light  
B A R  
神戸市生田区北長狭通1丁目24  
TEL 33-0886・39-2696

クラブ る ふ ら ん  
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 33-2854

クラブ ヤングベル  
神戸市生田区中山手通2丁目89  
光ビル1階 TEL 33-3052

## ★STAND & SNACK

スタンド 英 国 屋  
生田区下山手通2-6 相互タクシー横  
TEL 33-1100 33-6600

スナック エルソタノ  
神戸市生田区下山手通 TEL 33-6620

スタンド 人 魚  
生田区中山手1-240 TEL 33-3756

スタンド グラムール  
生田新道ビル地階 TEL 33-4637

おとぎの国 ぴーたーばん  
神戸市生田区北長狭通2丁目1  
金剛山南角 TEL 32-1380

スナックバー リチャード  
神戸市生田区山本通1丁目9  
小岩マンション1F TEL 24-3041

スタンド さ り げ な く  
生田区下山手通2丁目31  
生田筋上高地西入 TEL 33-3714

グラタン小屋 5 つ の 銅 貨  
神戸市生田区北長狭通2-14  
金剛山西入 TEL 39-1438

スナック ビジービー  
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 39-4582

スタンド 京 子  
生田区中山手1丁目91サッポロ西隣2F  
TEL 33-6635

ドリンク 薔 薇 屋  
スナック  
生田区北長狭通5丁目19-4  
TEL 35-4311

スナック シルクロード  
神戸市生田区生田神社前  
ふじやビル2F TEL 33-1359

洋酒の店 キャンテイ  
神戸市生田区北長狭通2丁目3  
TEL 39-3060・39-3010

DRINK スネカジリッ子  
SNACK  
神戸市生田区下山手通2丁目  
水見ビルB1 TEL 39-8708

スタンド 勢 津  
神戸市生田区下山手通1-5  
ゼウス街 TEL 39-0516

素 舌 洞 で つ さ ん  
神戸市生田区北長狭通1丁目258  
三宮映劇山入る TEL 33-6778

STAND ア ト ラ ス  
生田区中山手通1丁目95  
TEL 33-5433

ブレイスナック バレンタイン  
神戸市生田区中山手通2丁目101  
大洋ビル2階 TEL 32-2967

STAND F A N F A N  
神戸市生田区下山手通2丁目29  
TEL 39-1410

緑のワインルーム み か げ  
神戸市生田区中山手通1-12  
東門筋入 TEL 39-3688

night cap む ら か み  
神戸市生田区加納町4丁目  
但馬銀行北小路入 TEL 39-2616

スタンド クラブ・ガーデニア  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
東門筋中島ビル2F TEL 39-3329

SNACK 山 の 手  
神戸市生田区中山手通1丁目  
ソネビル1F TEL 22-3637

スタンド ば ん ぶ ー  
生田区下山手通1丁目6の5  
東新ビル地階 TEL 39-8734

淳子の店 娑 (SARA) 羅  
生田区中山手1丁目91  
TEL 39-1647

スナック ダンディ  
神戸市生田区・農業会館西筋上ル  
天野ビル2F TEL 33-6450

SNACK マゼラン  
B A R  
神戸市生田区加納町4丁目1  
TEL 39-3688

snack MORE MORE  
神戸市生田区中山手通1丁目107  
TEL 33-4728

レストラン・バー 最後の1ドル  
神戸市生田区北長狭通1丁目  
チエリービル3F  
三宮生田新道山側 TEL 39-2173

A HAPPY  
NEW YEAR 1971



FANFAN

NO. 29, 2-CHOME, SHIMOYAMATE-DORI  
IKUTA-KU, KOBE.  
TEL. KOBE (078) 39 - 1410



A Happy  
New  
Year

'71年のブレイは  
トースクのヤカタ  
にオマカセ!





1971年あけまして  おめでとうございます

本年もどうぞよろしく  
おねがいいたします。

山田 昌子

神戸市生田区中山手通1ノ111

TEL (078) 33-2403

鈴







スナック

**阿羅仁** 生田区中山手通1丁目81  
TEL. 39-0865



フレイスナック バレンタイン 生田区中山手2丁目101  
*Valentine* 大洋ビル2階  
TEL 32-2967

KOBE DRINKING GUIDE

club

**ルイス**

生田区下山手通2-29  
コウベビル地下  
TEL. 39-5065

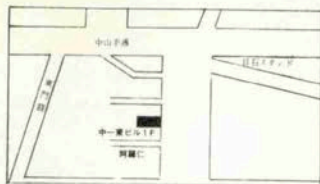


**MORE  
MORE**

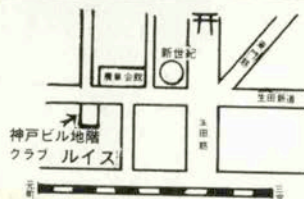
生田区中山手通1丁目107  
TEL. 33-4728



★中山手通1丁目にレンガ造りの大変シックなスナックがオープンした。阿羅仁（アラジン）がそれだ。若くて素敵なおママの小野百代さんが、私の願いがかなうようにと、アラビアンナイトのアラジンにちなんで名付けたという。店内はママの好きなレンガと、わざわざ丹波の篠山からとりよせた大きな松の木でつくった飾り棚、それにゆったりとした広いカウンターが大変落ち着いたムードをかもしている。大きな飾り棚に並べられた数々の珍しい壺やランプは飲む人の心に夢と安らぎを与え、又、街の雑踏から解放され、憩いを求めて訪れる人々にはきっとその願いをかなえてくれる。そんなお店が阿羅仁です。ビール ¥ 250 コーヒー ¥ 200  
営業時間 P. M. 6:00～A. M. 11:00 日曜休み



阿羅仁



ルイス

★紫青の色は神戸の夜を大人っぽく彩る。メロディアン・サイカラーの七色のライトに包まれた神戸ビル地階にあるクラブ「ルイス」は、デラックスな室内装飾に光の円が描かれるムードあるスペースで、ハイモードのクラブの雰囲気を楽しめる。

柔らかなトーンのソファで、ルイスガールズが注いでくれるグラスを傾けると、酔い心地と共にモダンな音楽が心の中を流れて行くようだ。

クラブ「ルイス」から広がる話題が、神戸の夜を豊富にさせ、若やいだ楽しみがリズムカルに生まれる。

ハイモードのクラブをお手軽な料金で満喫できるし、中央のゴージャスステージでは、超ミニのルイスガールズの踊りも見られる。

日曜、祭日は休ませていただきます。

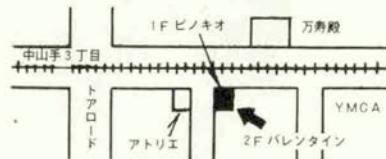
★街の騒音を南に退けて、中山手の静かな通りにでるとピンクの幌に気がつく。神戸のプレイスナック「バレンタイン」だ。白い扉を開くと中は真紅のじゅうたんが目にあざやか。

この憩いの場所に、金の鎖のカーテンがかかり、クリーム色の柱があったをエキゾチシズムに誘い込む。

壁面を心をとめるのもいいが、ジュークボックスとスロットマシンのフレッシュな感覚の中で、若いカップルのダンスが始まる。レコードに合わせてギターが弾かれると、片隅でボンゴが鳴る。靴をぬいだ感触が実に心地よい。

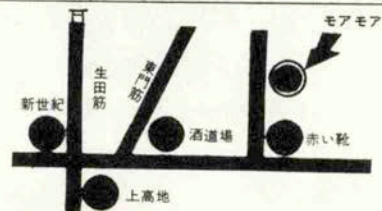
ヤングな中にもちょっと大人っぽいムードを持っているプレイスナックで、好みの料理がいろいろとできるのも楽しみだ。都会の自動車の騒音をぬけだして、熱っぽい音楽の憩いとスペースをお楽しみ下さい。

Valentine



## KOBE GUIDE

モアモア



★赤と紺と白。これだけのシンプルな色合いが揃えば、そして、靴をぬぎ、どっかと腰を毛皮の上におろすことができれば、それだけで、自分だけの遊びと憩いの場所ができてしまう。

生田新道、赤い靴の北側に誕生した「モアモア」も神戸っ子の憩いの場となり、六つのランタンと紺の色調もすっかり馴染みになった。

固い椅子で一日のビジネスを終えたものにとっては、「モアモア」の柔かいイメージと坐り心地は、完全にリフレッシュされるありがたきだ。

マスターと語り、ヴォーカルに唱和して楽しめるプレイスボットとして神戸以外にも知られている。

ビール(小) ¥ 300、ウイスキー ¥ 400、フィズ ¥ 400、バターコーン ¥ 300、その他、いろいろと軽食も楽しめる。チャージ・サービス料はまったくありません。営業時間 PM 6:00～AM 2:00



## 謹賀新年

「ふる里」が生まれ変わりました!!

神戸に初めて、お茶漬・おむすび・鍋ものの店として創業20年  
おなじみのふる里が.....



[店内] 神戸っ子好みの広々としたカウンター、包丁さばきを見ながら召上れ!

[ふんいき] 「飯を食おうじゃないか」若くて気のいい板前さんと言葉をかわしながら飯を食おうじゃない!!

[変わったこと] 定食にサラダがついている、女の子がよろこぶこと、うけあい!!!

まあのもいってごらん すべてあなた好みのお食事処です。

カウンターお食事処  
悟味西姉妹店

ふる里

神戸三宮生田筋(生田神社前)

TEL33-5535

営業時間 PM5:00~AM1:00



★メニュー おむすび定食 ¥ 350

定食 ¥ 500

鍋もの ¥ 800

悟味西

さんちか悟味西も、装いを新たに営業致しております。

さんちか悟味西ちゃんこ場 39-5319  
AM11:30~PM9:30

阪急西口本店 33-3848  
PM5:00~AM0:30

阪急西口2階鍋もの炉ばた 32-3220  
PM5:00~AM0:30